

発行日：2023年7月13日

SDGs Report 2022

環境経営レポート

Sustainable
Development
Goals
Report



 小さな部品の精密めっき 株式会社エルグ

対象期間：2022年5月1日～2023年4月30日



SDGsとは、2015年9月、ニューヨーク国連本部において、193の加盟国の全会一致で採択された国際目標であります。

これは、『持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)』として、社会が抱える気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指し、先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標であり、

世界全体で2030年を目指して明るい未来を創るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

エルグのSDGs

エルグは、企業理念及び環境方針に基づき、SDGsの達成に貢献しています。

SDGsから9つの目標をマネジメントシステム会議にて特定しました。

今後、エルグではSDGs17の目標達成に向けて貢献していきます。



1. 会社概要

1) 会社概要と業務内容



▲管理棟



▲第二工場

社名	株式会社 エルグ	
本社工場	〒370-2451 群馬県富岡市宇田250-6	
TEL	0274-62-2421 (代)	
FAX	0274-64-2379	
創立	1947年 (昭和22年) 3月22日	
資本金	20,000,000円	
代表取締役	桐原 聡二郎	
工場面積	工場敷地	5,572m ²
	延床面積 第1工場	1,598m ²
	第2工場 1F	555m ²
	2F	533m ²
	管理棟 1F	435m ²
2F	414m ²	
取引銀行	群馬銀行富岡支店 みずほ銀行高崎支店 日本政策金融公庫前橋支店	

私たちは「ERG」で弊社の事業目的を表現します

ドイツ語で[erg.]は「完全なものに！」(erganzeの略語)を意味します。私たちは高度な表面処理技術により、「皮膚で新しい価値」を創造し、部品としてあるべき姿、即ち目的に適った「理想の輝き」を与えます。だからこそ私たちの仕事は美のロマンに満たされた仕事だと思えます。それは働くものの「楽しさ＝輝き」でもあるのです。

ところでerg.のE・R・Gはドイツ語で

E:Echt…(エヒト) 本物の (=絶対の信頼)

R:Rationell…(ラティオネル) 目的に適った (=理想的なものにする)

G:Glanz…(グランツ) 輝き

にあたります。

めっき

- ・銅めっき
- ・ニッケルめっき
- ・銀めっき
- ・金めっき
- ・ロジウムめっき
- ・パラジウムめっき
- ・錫めっき
- ・無電解ニッケルめっき

加工

- ・研磨加工
 - バレル研磨
 - バフ研磨
- ・特殊加工
 - 脱脂処理
 - 化学研磨処理
 - 熱処理(ベリ銅の析出硬化処理)

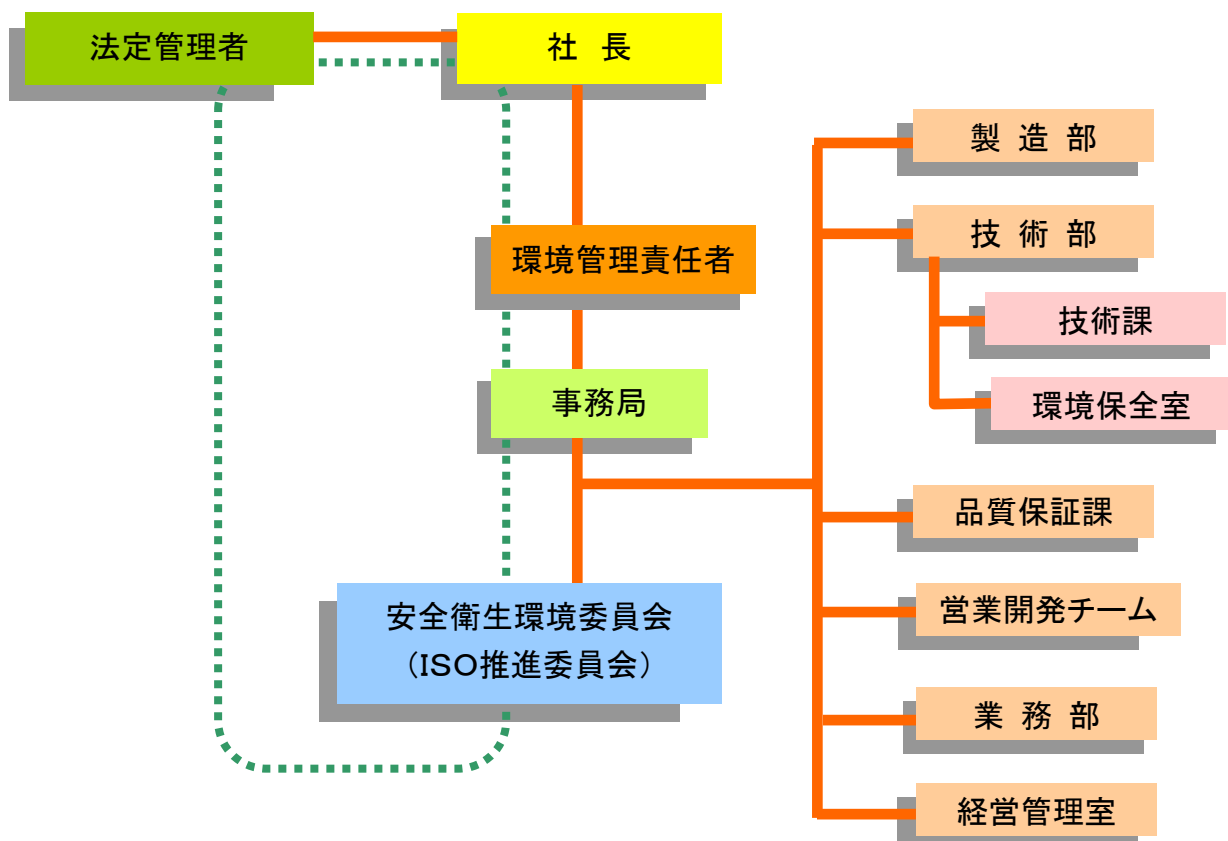
2) 環境管理責任者及び担当者連絡先

代表責任者	代表取締役社長	桐原 聡二郎
環境管理責任者	代表取締役社長	桐原 聡二郎
担当者	経営管理室	横塚 由美子

3) 対象範囲(認証・登録範囲)

電気、自動車、通信機器の機能部品のめっき加工

4) EA21 運営組織図



2. 方針

企業理念 Working with Pleasure

私たちは、表面処理の技術と成果をとおして、新たな価値を創造します。
これにより、社員とお客様の幸せを築き、よりよい社会づくりに貢献します。

環境方針 Harmony with the Earth for Future

私たちは、地球環境の重要性を認識し、資源の有効活用と環境負荷の軽減に努めます。
また、環境と調和した活動を続け、次の世代へ伝えていきます。

環境保全活動 Environmental conservation activities

1. 当社は、環境汚染を防止するため、事業活動によって環境に与える影響を的確に捉え、関連する環境の法規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守し、自主的改善目標を立案し、継続的に環境保全に取り組みます。
2. 環境マネジメントシステムについて自主管理によるシステムの継続的な改善を推進します。
3. 事業活動に伴い、環境に著しい影響を与える可能性のある下記項目に関して継続的に減量化・リサイクル及び管理強化に積極的に取り組み、環境目標の設定、実行及び見直しの実施に全ての社員が参加します。
 - 1)化石燃料・エネルギー
 - 2)廃棄物(スラッジ)
 - 3)水
 - 4)紙
 - 5)化学物質
 - 6)グリーン購入
 - 7)温室効果ガス
4. 事業活動に伴い調達、使用、排出する全てのものに関して監視管理します。
5. 防犯、安全衛生対策を万全にし、定常時、非定常時、緊急時のいずれの場合も環境に与える負荷が、最小限になるように汚染の予防に努め、経済的に可能な限り予防措置及び対応方法を定め、訓練を実行します。
6. 環境改善を実行し維持するための環境教育を、全ての社員及び当社の為に働く全ての人に実施し環境方針の理解と環境に関する意識向上を推進します。
7. 高田川に隣接した立地条件を認識し、水と自然を大切に活動を通し、地域住民とコミュニケーションを図り地域社会に貢献します。
8. この方針は、社内外に公開します。

2020年6月17日

株式会社 エルグ

代表取締役社長 桐原 聡二郎

弊社は、2003年7月からISO14001、2009年7月よりエコアクション21に基づく「環境活動」を実施してまいりました。以下に、2020～2022年度の環境活動結果をご報告致します。

尚、電力購入元電気事業者は、2020年3月より(株)CDエナジーダイレクト社に変更しており、二酸化炭素排出量につきまして、2020年度の温室効果ガス排出量算定係数を使用して比較しております。

3. 環境目標とその実績

1) 環境負荷の状況



主要項目		実施	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	排出係数	【長期目標基準年:2020年度】 排出係数:0.413 電気事業者: CD エナジーダイレクト			
	実績(t)		911	952	951
	前年比(%)		101.8	104.5	99.9
	基準年比(%)		102.6	112.5	112.4
廃棄物排出量 (産業廃棄物 +特別管理産業廃棄物)	実績(t)		82	74	110
	前年比(%)		154.7	89.0	148.6
総排水量	実績(m ³)		35,471	37,857	37,125
	前年比(%)		110.2	106.7	98.1
化学物質使用量	実績(t)		177	205	219
	前年比(%)		104.1	115.8	106.8
	実績(kℓ)		30	43	49
	前年比(%)		230.8	143.3	114.0
無機汚泥 (有価物)	実績(t)		23	22	21
	前年比(%)		104.5	95.7	95.5
自主項目		実施	2020年度	2021年度	2022年度
産業廃棄物リサイクル率 (総排出量比)		実績(%)	100	100	100
紙使用量	事務用	実績(kg)	1,032	1,135	973
		前年比(%)	105.5	110.0	85.7
	梱包材	実績(kg)	280	158	278
		前年比(%)	155.6	56.4	175.9

弊社のキャラクターエルちゃんです。
アライグマはものを水に浸して洗うしぐさをするをご存知でしょうか。だからアライグマなのです。
めっきは水洗いの繰り返し。私達はアライグマのように水洗いをめっき道(技術)の象徴として、徹底して極めていきたいのです。それからアライグマは大変な好奇心のち主でありながら、どんなときでも冷静に対処できる賢い動物なのです。



2) 環境目標と評価






弊社では、3か年の長期計画に基づき、年度毎に短期計画を実施しております。
 本年度は、2020年度を基準とする長期計画(2021～2023年度)の2年度にあたります。
 以下に、長期目標と2022年度の結果をご報告いたします。

主要項目	2020年度実績		2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量(t)	911 [排出係数 0.413]	目標 (2020年度比)	▲0.4%	▲0.3%	▲0.3%
		判定	×	×	
廃棄物排出量(t)	82	目標 (2020年度比)	▲0.4%	▲0.3%	▲0.3%
		判定	○	×	
総排水量(m ³)	35,471	目標 (2020年度比)	▲0.4%	▲0.3%	▲0.3%
		判定	×	○	
化学物質使用量 (t) (kl)	177 30	目標 (2020年度比)	▲0.4%	▲0.3%	▲0.3%
		判定	×	×	
グリーン購入(%)	40	目標 (購入物品比)	40%以上	40%以上	40%以上
		判定	×	×	

※自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関しては、上記主要項目が直接関係しており、更に化学物質を適正に管理すること、不適合製品の削減を活動の目標としております。

自主項目	2020年度実績		2021年度	2022年度	2023年度	
産業廃棄物リサイクル率 (総排出量比)	100	目標 (総排出量比)	100	100	100	
		判定	○	○		
紙使用量(kg)	事務用	1,032	目標 (2020年比)	▲0.4%	▲0.3%	▲0.3%
			判定	×	○	
	梱包材	280	目標 (2020年比)	▲0.4%	▲0.3%	▲0.3%
			判定	○	○	

4. 環境活動計画の内容と評価

活動目標	20年度環境活動計画の内容	評価
二酸化炭素排出量削減	①もったいない活動推進による社員の意識改革 ②社有車のエコドライブ推進・走行効率化による使用燃料削減 ③ボイラー稼働時間厳密管理によるガス・灯油使用量削減 ④待機電力の削減 ⑤太陽光発電システムのメンテナンス ⑥エコカー(社有車・フォークリフト)の導入	
廃棄物排出量削減	①包装材のリユース推進 ②廃棄物の分別によるリサイクル率増加	
総排水量削減	①工程内使用水道水の有効利用 ②社員の節水の為の意識改革	
化学物質使用量削減	①不適合製品の削減 ②処理液成分変動の監視強化 ③処理方法の改善 ④顧客へ加工油・防錆油の塗布量適正化のお願い	
一般廃棄物 リサイクル率増加	①リサイクルパトロールの実施(分別ミスによる混入の管理) ②廃棄物分別の徹底	
紙使用量	事務用 ①裏紙の有効活用 梱包材 ①リユース推進、簡易包装推進	

5. 環境活動取組結果と評価

2022年度の環境活動取組結果と評価を次に示します。

主要項目			2020年度実績	2022年度目標	2022年度実績	20年度比(%)	判定
二酸化炭素排出量削減	購入電力	kwh	866,437	▲0.3%	923,962	106.6(+6.6)	×
	(太陽光発電)		—		(75,568)		
	LPG	kg	36,763	▲0.3%	40,243	109.5(+9.5)	×
	灯油	L	163,877	▲0.3%	161,915	98.8(▲1.2)	○
	軽油	L	—	—	3,835	—	—
※2016年以降、軽油の使用無し。2021/11月より使用開始							
ガソリン	L	14,657	▲0.3%	15,228	103.9(+3.9)	×	
廃棄物排出量	産廃+特管産廃	kg	81,878	▲0.3%	109,607	133.9(+33.9)	×
総排水量	水道使用量	m ³	35,471	▲0.3%	37,125	104.7(+4.7)	×
化学物質使用量	前処理類	kg	53,864	▲0.3%	47,487	88.2(▲11.8)	○
	めっき成分	kg	8,695	▲0.3%	7,170	82.5(▲17.5)	○
		L	25,540	▲0.3%	44,500	174.2(+74.2)	×
	排水処理用	kg	154,370	▲0.3%	157,780	102.2(+2.2)	×
※使用量の多い材料(500kg以上使用)に重点を絞り、削減に取り組みました。							
自主項目			2020年度実績	2022年度目標	2022年度実績	20年度比(%)	判定
リサイクル率向上	混入件数	件	0	0件	0件	—	○
紙使用量削減	事務用	kg	1,032	▲0.3%	973	94.3(▲5.7)	○
	梱包材	kg	280	▲0.3%	278	99.3(▲0.7)	○

6. 次年度の取組内容(継続)

●省エネルギー・省資源●

- もったいない活動の推進
- 不適合製品削減活動
- 廃熱の有効利用
- 工場内設備、照明、冷暖房機の有効利用

●廃棄物減量化●

- 一般廃棄物分別徹底
- 包装材のリユース推進



6 安全な水とトイレを世界中に



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



15 陸の豊かさも守ろう



12 つくる責任 つかう責任



15 陸の豊かさも守ろう

●環境配慮●

- 環境負荷物質使用・排出量削減
- 化学物質の適正な管理
- 材料使用の効率化

●その他●

- 環境自覚教育
- 顧客への簡易包装・通い函使用のお願い
- 不適合製品の削減



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



4 質の高い教育をみんなに



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を

●環境活動の取組み

2020年度を基準とした長期計画書(2021~2023年度)に基づき、年度毎に短期計画書を作成し、3ヶ月毎に進捗を確認しています。

4. 環境目標及び環境活動計画の策定 様式-6

《環境活動計画書》		全社 長期・短期		活動目標	改善・気づき・時短活動の推進(18ポイント/年・人)	承認	確認	作成				
21~23年度 版:3		部署名: 全社		部門目標								
		作成日: 22年 8月 3日										
No.	削減項目	実績と目標		改善策(手段)	担当部門	年度計画 (上段:目標 下段:実績)			実施年度			
		20年度実績	長期目標 (21~23年度)			2021年	2022年	2023年	21	22	23	
1	二酸化炭素排出量	電機CO ₂ 排出量 0.481 0.413	970(t) 911(t)	▲1% (20年度実績)	・ガソリン・軽油使用量削減 ・電気使用量削減 ・ガス使用量削減	業務課 全社 製造課・環境保全室	▲0.4% 952(t) 104.5%	▲0.3% 951(t) 104.4%	▲0.3% (t) %	○	○	○
2	廃棄物排出量 (廃液・特管産廃除く)		9.5(t)	▲1% (20年度実績)	・汚泥の溜原化 ・原材料使用量削減 ・リサイクル率向上	環境保全室 製造課 全社	▲0.4% 17.8(t) 187.3%	▲0.3% 12.6(t) 132.6%	▲0.3% (t) %	○	○	○
3	総排水量		35,471(m ³)	▲1% (20年度実績)	・工程内水使用量削減 ・社員の節水意識向上 (もったいない活動)	製造課・環境保全室 全社	▲0.4% 37,857m ³ 106.7%	▲0.3% 37,125m ³ 104.7%	▲0.3% m ³ %	○	○	○
4	化学物質使用量		177(t) 30.0(kg)	▲1% (20年度実績)	・不適合製品の削減 ・材料残骸の適正化 ・社員の節約意識向上 (もったいない活動)	製造課・技術課 製造課・技術課 全社	▲0.4% 205.9(t) 116% 43.2(kg) 144%	▲0.3% 219.2(t) 123.8% 48.7(kg) 162.3%	▲0.3% (t) (kg) %	○	○	○
5	紙使用量	事務用 梱包用	1,032(kg) 280(kg)	▲1% ▲1% (20年度実績)	・裏紙使用の徹底 ・再利用の工夫 ・顧客への呼びかけ ・簡易包装推進	全社 全社 業務課・品質保証課 業務課・品質保証課	▲0.4% 事務 1,135(kg) 110% 梱包 158(kg) 56.2%	▲0.3% 972.9(kg) 94.3% 277.8(kg) 99.2%	▲0.3% (kg) (kg) %	○	○	○
継続	グリーン購入	40%以上		エコマーク品の優先購入 有害物質非含有品の購入	業務課(全社) 技術課(全社)	35.4%	39.7%	%	○	○	○	
	製品サービス	有害物質非含有製品の製造 環境に配慮した原材料の使用 環境負荷の少ない工程の開発 配送レートの効率化 包装の簡易化、通箱の使用			製造課・技術課 製造課・技術課 製造課・技術課 業務課 品質保証課	監視	監視	監視	○	○	○	

※No. 1~4:EA21必須項目 No. 5:自主項目

～事業活動とSDGsへの取り組み～

弊社では、課別活動（環境経営活動）、情報委員会、ISO推進委員会などを通じ、事業活動に取り込みSDGsを社員に啓蒙しています。



群馬県有施設の温室効果ガス排出量 2021年 111,552t

群馬県の県立学校や県立病院などの県有施設から排出された温室効果ガスは、2013年度比20%削減の111,552tでした。

削減の要因は、県立高校の統廃合による灯油使用量の削減、web会議などの活用によることです。群馬県は2030年度排出量78,203t（2013年度比 マイナス44%）という高い目標を掲げていることから、今後の活動が期待されます。

群馬県のSDGs

群馬県では、SDGs実現に向けて様々な活動を行っているのをご存じでしょうか？

●「ぐんま5つのゼロ宣言」【2050（にーまるごーぜろ）宣言】

群馬県は、事前災害によるリスクを抑え、県民の命を守り、安心な暮らしと安定した経済活動が可能な社会を実現するため、ソフト・ハードの両面から防災・減災対策の取組を徹底して災害時レジリエンスを教科します。

更に、長い日照時間、豊富な水資源・森林資源など本県の恵まれた再生可能エネルギー資源をフル活用し、自然災害による死者「ゼロ」、温室効果ガス排出量「ゼロ」、及び災害時の停電「ゼロ」を同時に実現します。

合わせて、地球規模の課題でもあると同時に、本県の課題でもあるプラスチックごみ「ゼロ」、食品ロス「ゼロ」も達成し、災害に強く、持続可能な社会を構築及び県民の幸福度を向上させるため「ぐんま5つのゼロ宣言」を宣言します。

●「SDGs群馬ビジネスプラクティス」

群馬県では、SDGsに関連した県内企業の先進的取組を「ビジネスプラクティス」（先進事例）として募集し、令和2年度は67社、令和3年度は46社、令和4年度は44社の事例を選定しました。

※ビジネスプラクティスとは、SDGsの考えに基づき、「社会」「経済」「環境」の側面から持続可能な社会の実現に着目したビジネス。自社の企業価値向上や競争力強化を目指しつつも、規定された「分野」や「カテゴリ」が意識された取組のこと。

●革新的環境イノベーションコンソーシアム

温室効果ガス排出量「ゼロ」を掲げ、持続可能な自立分散社会への変革と経済成長の両立を目指すグリーンイノベーションの取組を進めています。

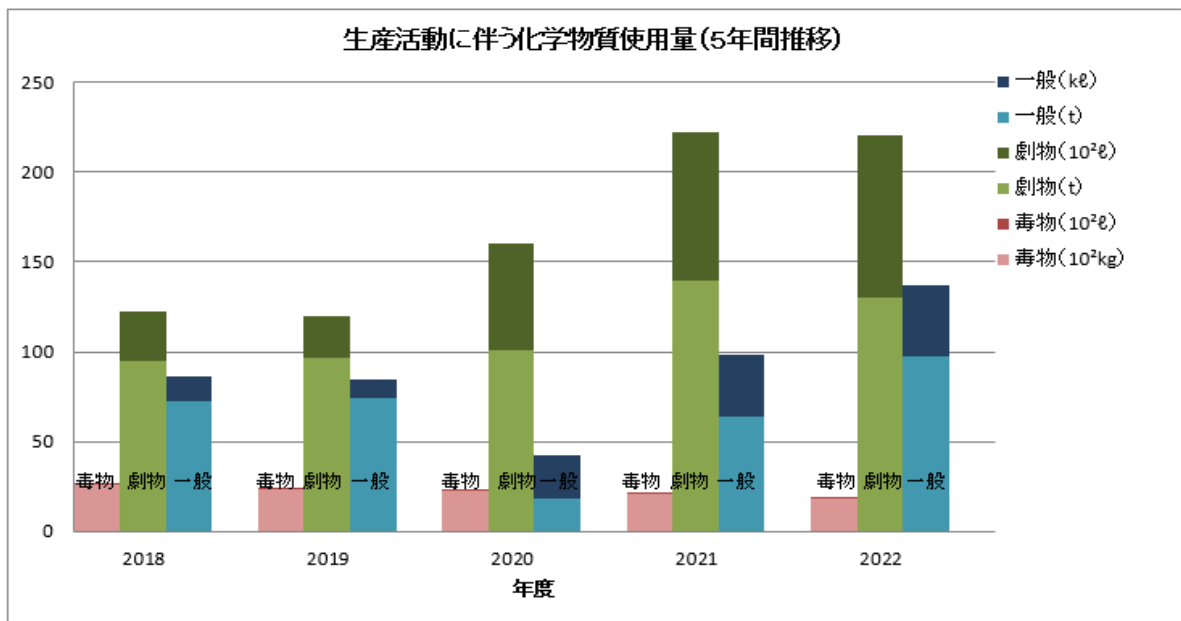
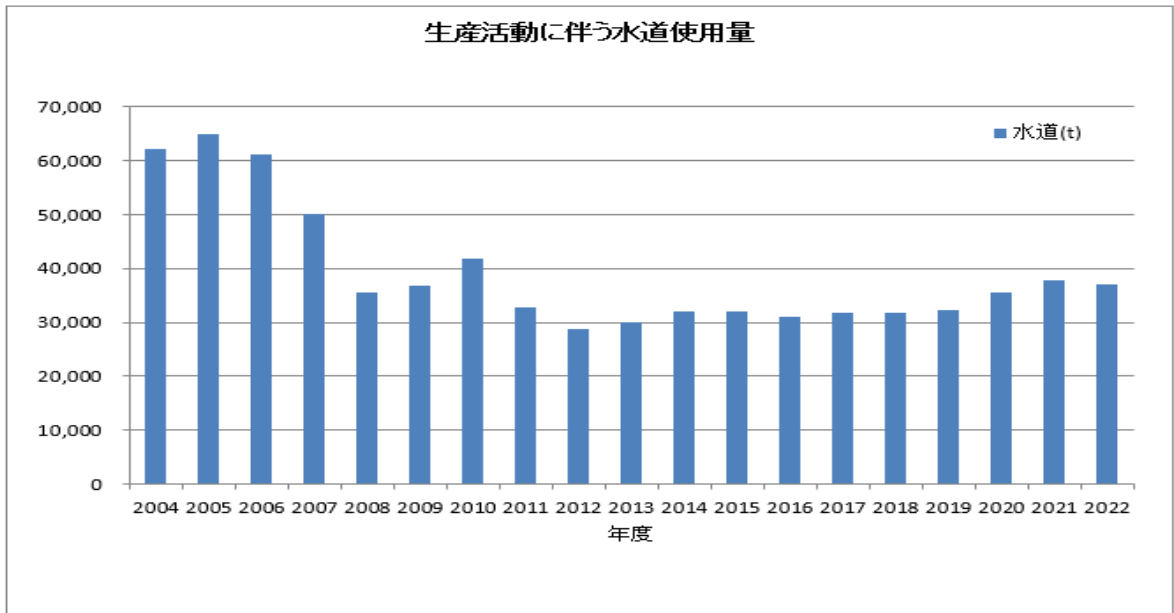
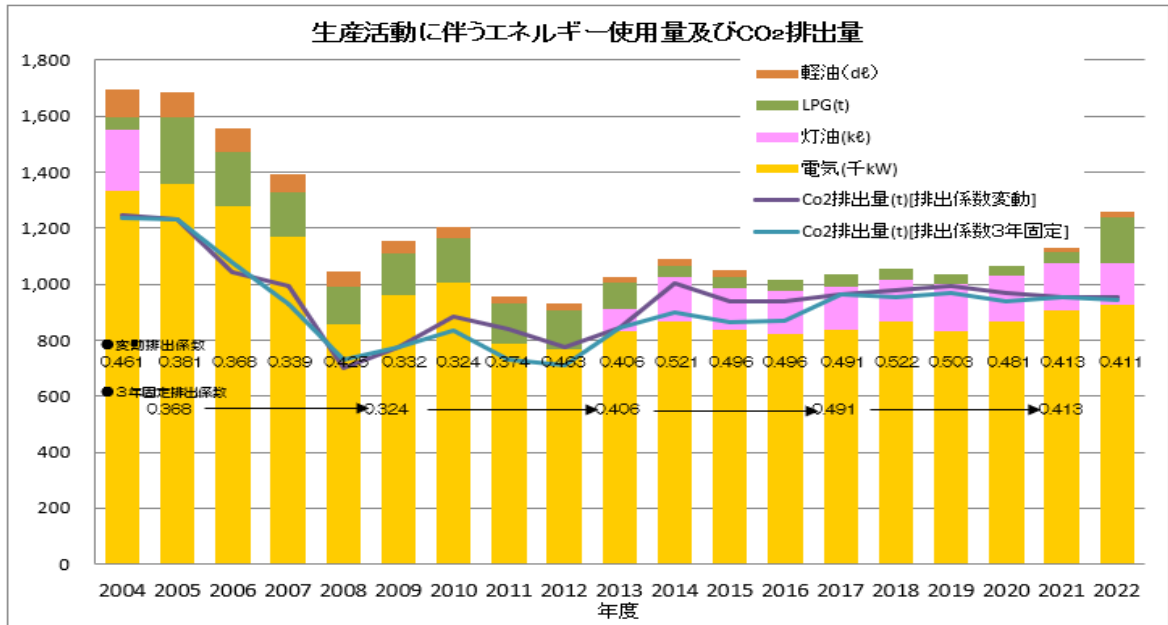
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法律に定められた届出、報告、遵守状況などの評価は、1回／年のマネジメントレビュー時に実施しており、違反、訴訟、また、近隣、その他の利害関係者からの苦情などはありません。

環境関連法規制名	チェック項目	判定
水質汚濁防止法	特定施設届出	○
	規制値順守	○
	特定施設構造基準・定期点検	○
	その他（排出水の測定、記録保管）	○
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止管理者等の届出	○
	汚染状態の測定及び記録	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物管理責任者の届出	○
	マニフェストの発行・回収・管理	○
	保管基準の順守、保管場所の表示	○
	行政報告	○
毒物劇物取締法	毒物劇物取扱責任者の届出	○
	保管場所の順守	○
	使用者・使用量の把握、記録	○
大気汚染防止法	特定施設届出	○
土壌汚染対策法	特定施設使用廃止の有無 汚染チェック	○
騒音規制法	特定施設届出	-
振動規制法	特定施設届出	-
特定化学物質の環境への排出量の把握及び 管理の改善の促進に関する法律	P R T R 報告	○
消防法	法定資格者の届出	-
	消防計画作成変更届出	-
	防火対象物使用開始届出	-
浄化槽法	設置届出	-
	保守点検	○
	法定検査	○
	浄化槽の清掃	○
労働安全衛生法	法定資格者の届出	-
	産業医	-
	作業環境測定	○
	健康診断の実施	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	簡易点検（7.5kw 未満）	○
循環型社会形成推進基本法	酸類梱包容器の再使用	○
群馬県的生活環境を保全する条例	特定施設廃止届出	○
	公害防止責任者届出	○
その他の要求事項	顧客要求事項の順守 R o H S 指令、 各社グリーン調達基準	○
	排水自主基準の順守	○

※判定欄「-」項目については、本年該当及び変更無し

8. 代表者による全体評価と見直しの結果



社長のコメント ～22年度マネジメントレビューより～

- 改善・気づき活動・もったいない・時短活動
1,107P/1,179 94% 年間目標達成者 32/71。昨年と同様で時短によるポイント多数。(595P/1,107P = 53.7%)
時短だけでなく、改善によるポイント増加を望む。
- 環境活動
温室効果ガス排出量は基準年比で 111.6%、前年比 99.2%とだが、過去5年間（基準年比 17年度 113.6%、18年度 115.8%、19年度 117.6%、20年度 114.6%、21年度 112.5%）と比べると、横ばいで削減が進んでいないことが分かる。そのため、もう一步踏み込んだ削減を期待する。
また、昨年同様に太陽光発電でのCO2削減量がガソリン使用による排出量とほぼ同等という結果となった。
- スキルマップの達成率は65.7%（前年64.6%）で微増ではあるが、評価は不可である。

○本年度の避難訓練

